

# 見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

September 2022 vol.101

September	M	T	W	T	F	S
						1
						2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

101号からのスタートにあたり、今回は名古屋大学減災連携研究センター・減災館の歴史災害に関するコンテンツを紹介していきます。裏面には、100号までの「見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち」で紹介した場所を地図に示し、現地の主な写真を掲載しました。

まずは『歴史地震研究プロジェクト』のホームページ(<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/rekishijishin/>)です。このホームページでは、「見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち」や「歴史地震(災害)探索まちあるきガイド」が展開されています。**見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち**は、バックナンバーが発行年別、地区別(名古屋、尾張、海部、知多、西三河、東三河)に掲載されています。



歴史地震研究プロジェクト

**歴史地震(災害)探索まちあるきガイド**は、碑や史跡について学びながらまちあるきを楽しむルートを紹介したもので、減災館を出発し、覚王山まで関東大震災の慰霊碑を巡る名古屋大学減災館～自由ヶ丘～覚王山編、昭和東南海地震の慰霊碑とともに半田の歴史をめぐる半田市役所～住吉町・半田口編、岡崎市役所を出発し、岡崎の水害にまつわる慰霊碑をめぐる東岡崎～岡崎市役所～矢作橋編が掲載されています。



歴史地震(災害)探索まちあるきガイド

このほか、この地域に住まう歴史地震愛好家の集い「中部歴史地震研究懇談会」や、若手技術者勉強会「ESPER」の歴史地震分科会の取組も紹介されています。

続いて『災と Seeing』のホームページ(<https://www.saitoseeing2020.jp/>)です。災と Seeing は、各地に残される自然災害にまつわる碑や史跡などを訪れ、過去の自然災害からの学びを、防災・減災活動に活かすことを目指した一連の取組です。碑や史跡を巡るツアーを YouTube で体験できる映像コンテンツ「災と Seeing Tour」、この地域の碑や史跡の情報をまとめ、地図に整理した「災と Seeing Map」から構成され、2021年9月に公開されました。



災と Seeing

**災と Seeing Tour** のページでは、豊橋市ののんほいパークを出発し、渥美半島の太平洋岸を走り、南海トラフの地震の史跡を巡る東三河編、一宮市を出発し、尾張地区の濃尾地震の慰霊碑を順に巡り、最後に減災館で液状化について学ぶ尾張編、名古屋市南区を出発し、海部地区の海拔ゼロメートル地帯の史跡を巡り、木曾川を渡って三重県の伊勢湾台風記念館を訪れ、ナガシマリゾート、なばなの里に至る伊勢湾台風編のツアーが公開されています。なお、ツアーで巡る各地点を個別に選択して再生することもできるようになっています。



災と Seeing Tour

**災と Seeing Map** のページでは、災害にまつわる碑や史跡の位置が地図に表示され、それぞれの碑や史跡のページに、360°カメラで撮影した写真や動画、見てみよう！歴史災害記録と旬のあいちのリンクなどがまとめられています。災害ごとに色分け・ページ分けがされており、それぞれの災害の特徴を知ることにも役立ちます。



災と Seeing Map

この災と Seeing の取組に関連して、減災連携研究センターと CBC テレビ、中日新聞社、中部地域づくり協会地域づくり技術研究所の4者の連携で、東海地方を対象を拡げた「広域災と Seeing」の取組も行われています。この取組では、CBC テレビが5分程度の番組を、中日新聞社が「備える3・11から」のコーナーで記事を制作しており、中部地域づくり協会の専用ページ([http://www.cck-chubusaigai.jp/sai\\_seeing/](http://www.cck-chubusaigai.jp/sai_seeing/))に情報が整理されています。(災と SeeingMap にも順次掲載予定です。)

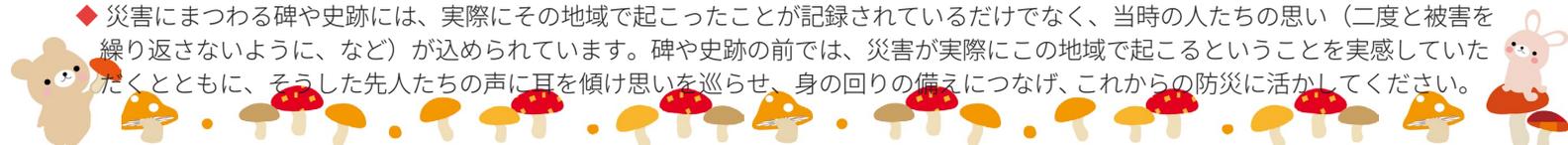


中部地域づくり協会のページ

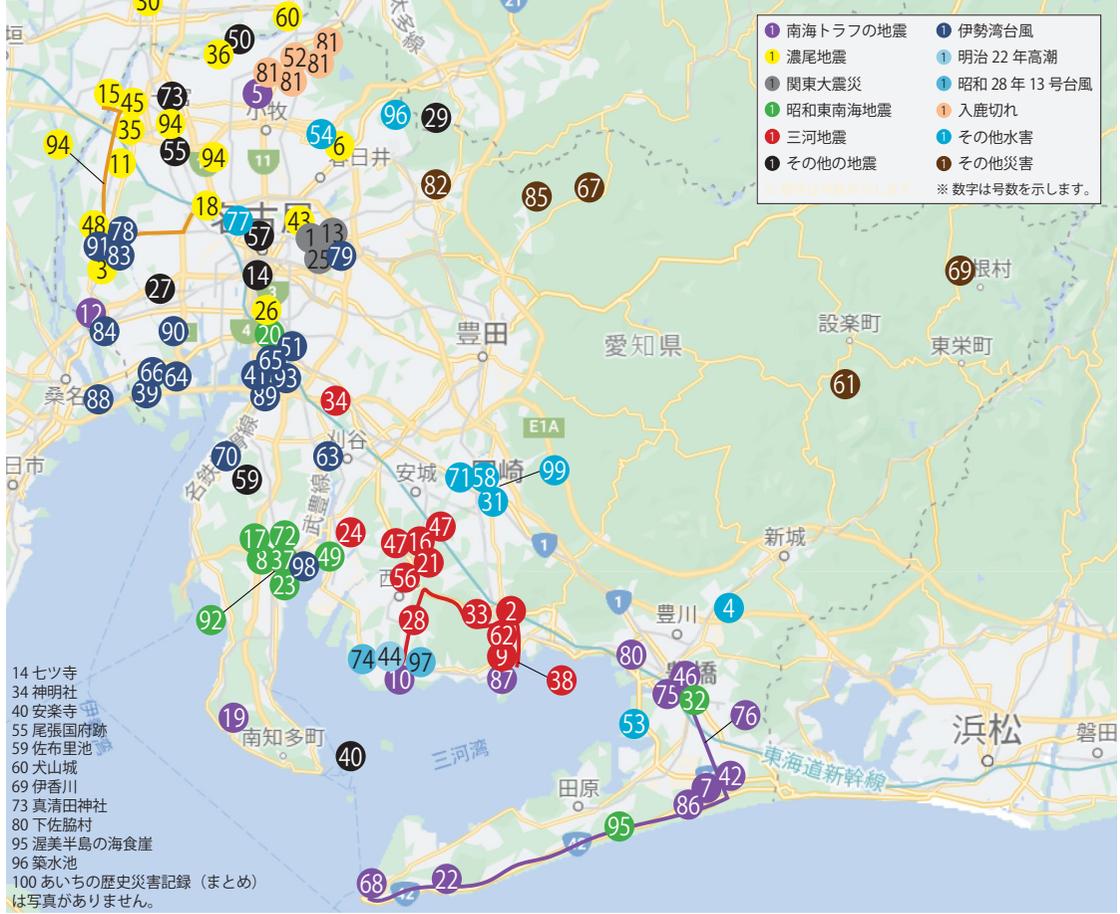
これらのオンラインコンテンツのほか、減災館2階のライブラリには、歴史災害にまつわる図書や、過去の災害の記録を見ることができる自治体の市町村史(誌)などが取り揃えられており、こちらも参考になります。(開館時間は減災連携研究センターのホームページでご確認ください。)

ご興味お持ちいただけたところから、実際にコンテンツに触れてみていただき、防災の取組の参考としてください。

◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い(二度と被害を繰り返さないように、など)が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していたかとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。



# 見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち 1～100



100 あいちの歴史災害記録 (まとめ) は写真がありません。